



## 株式会社大津屋と小川家

1573年の両替商・酒造業として始まった株式会社大津屋(福井県福井市)は、時代と環境の変化に合わせ、酒造業、酒類卸業、酒類小売販売業、コンビニエンスストア事業、中食事業、複合型の「ダイニングコンビニ」事業、そして2007年には教育事業、という発展を遂げてきた。一見すると全く脈絡のない業態転換を繰り返しているように見えるが、株式会社大津屋の小川明彦は「全て繋がっている」と語る。また新規事業に進出する際は、その事業の経験者を採用するのではなく、素人の既存社員に担当させるという方法をとっている。果たしてその意図は何であろうか。売上約17億円のファミリービジネスが、長い歴史の中でどのような方針で事業展開を行ってきたか、地域社会とどのように向き合ってきたのかを考えるケース。

---

Copyright©2009 はファミリービジネス研究所が保有する。

本ケースはファミリービジネス研究所が出版するものであり、ファミリービジネス研究所の許可を得ずに、本ケースのいかなる部分も、デジタル的、機械的、写真複写、録音、録画、その他の手法に拘わらず何れの形式によっても、複製、転送、配布してはならない。

本ケースは、慶應義塾大学ビジネススクール国保祥子 (D15) がクラス討議の資料として用いるために作成した。経営管理の良否あるいは関係者の判断の適否を示唆するものではない。本ケースの作成にあたっては、株式会社大津屋関係者の方々に多大なるご協力をいただきました。深く御礼申し上げます。

Copyright@国保祥子 (2009)

お問合せ：

ファミリービジネス研究所事務局：〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目2-1 住友不動産汐留浜離宮ビル  
プライスウォーターハウスクーパース株式会社内、電話 03-3546-8480、e-mail [office@fabis.jp](mailto:office@fabis.jp)

ID:FABIS2009\_2\_1\_X\_YY